



流域治水

流域治水への取組み



令和6年11月20日版
新太平洋建設株式会社

新太平洋建設株式会社

近年、全国各地で毎年大規模な水害が発生！

【平成27年9月関東・東北豪雨】



【平成28年8月台風第10号】



【平成29年7月九州北部豪雨】



【平成30年7月 西日本豪雨】



【令和元年 東日本豪雨】



【令和2年7月豪雨】



【令和3年8月の大雨】



【令和4年8月の大雨】



【令和5年7月の大雨】



【令和6年7月の大雨】



※ここに例示したものの以外にも、全国各地で地震や大雨等による被害が発生

平成28年8月 北海道でも豪雨災害が発生！

※出典～北海道開発局資料

空知川（南富良野町）



札内川（帯広市）



常呂川（北見市）

地球温暖化により年々、水害の発生リスクが上昇！

※出典～北海道開発局資料

道内アメダス100地点当たりの時間30mm以上の降雨発生回数

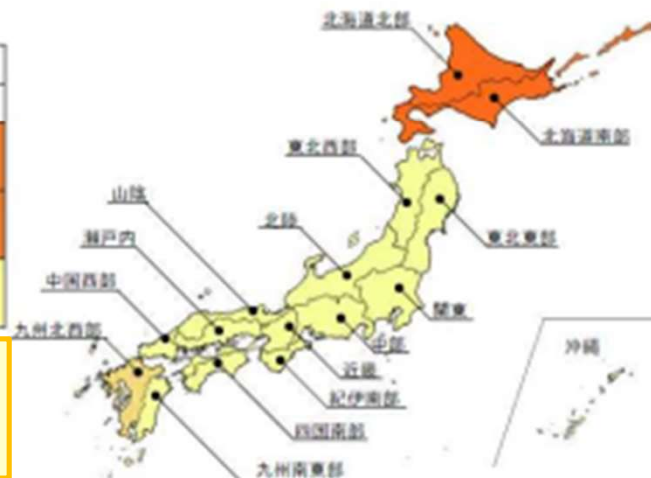


近年、北海道でも短時間に強い降雨の発生頻度が増加

<地域区分毎の降雨量変化倍率> 地球温暖化

地域区分	2°C上昇	4°C上昇	
		短時間	
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2	1.3

○北海道は全国より気象変動の影響が大きい



出典：気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会提言(令和3年4月改訂)

河川工事で洪水対応タイムラインを実運用！

当社では、頻発する豪雨対策として、河川区域内の工事において**洪水対応タイムライン (TL)を実運用**し、作業員の安全や重機からの油流出による漁業被害等の防止対策を行っています。

令和2年度石狩川矢臼場築堤河道掘削工事において、TLをステージ1から11まで行動事項を細分化し、**現場事務所、協力業者、本社、河川事務所の各担当者が行う行動内容を明記し、実運用**しました。

またTLは、現場事務所内外に掲示して、作業員への説明と周知を図りました。

掘削工事が本格化した7月には、河岸で掘削している**重機を必要時間内に堤防まで移動出来るかの避難訓練を実施**し、TLでの行動内容の実演習を行いました。

A large, detailed table titled "矢臼場築堤河道掘削工事 洪水対応タイムライン (石狩水位観測所)". The table is organized into columns and rows, detailing various stages and actions for flood response. It includes information about the project, the specific actions to be taken at different stages, and the responsible parties. The table is displayed on a board at a construction site.

項目	内容	担当者	備考
1	洪水発生時の初期対応	現場事務所	
2	重機の避難準備	現場事務所	
3	重機の避難実施	現場事務所	
4	避難完了の確認	現場事務所	
5	現場の安全確認	現場事務所	
6	関係機関への連絡	現場事務所	
7	作業の再開	現場事務所	
8	事後の点検	現場事務所	
9	記録の作成	現場事務所	
10	関係機関への報告	現場事務所	
11	事後の振り返り	現場事務所	

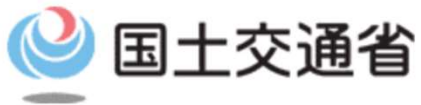
タイムラインの掲示と周知



堤防までの重機避難訓練

国土交通省の流域治水サポーターに認定（令和5年6月）

国土交通省では、あらゆる関係者との連携の下、流域全体で治水対策に取り組む「流域治水」を促進するため、令和5年3月に「流域治水オフィシャルサポーター制度」を創設し、当社は令和5年6月に「流域治水サポーター」に認定されました。以下は国土交通省のHPで公表されています。



YouTube

本文へ

文字サイズ変更

標準

拡大

音声読み上げ・ルビ振り

English

Google 提供



検索方法

サイトマップ

オフィシャルサポーターのご紹介



新太平洋建設株式会社

新太平洋建設株式会社

当社は2年連続の認定

認定年度

令和5年度

令和6年度 取組の例

WEBページにて河川区域内の工事で洪水対応タイムライン（事前防災行動計画）を実運用している旨の公表・周知。

令和5年度 取組実績

- WEBページにて河川区域内の工事で洪水対応タイムライン（事前防災行動計画）を実運用している旨を公表・周知。

当社のHP（SDGs取組み概要）でタイムラインの 取組み概要を紹介



新太平洋建設株式会社

強靱（レジリエント）なインフラ構築とイノベーション（新たな技術革新）の推進を図る

・河川工事により、流域治水での安全・安心の向上に貢献します。また、激甚化・頻発化する災害に対するソフト対策として、河川区域内の工事で洪水対応タイムライン（事前防災行動計画）等を実運用しています。

・当社は令和5年6月に国土交通省の流域治水サポーターに認定されました。

<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/supporter.html>

・令和2年度の河道掘削工事と橋梁新設工事で洪水対応タイムラインを、令和3年度の斜面对策工事で暴風雪対応タイムラインを、令和4年度の橋梁補修工事で洪水対応タイムラインを実運用し、令和6年度の豊平川河道整正工事でも運用を予定しています。



令和2年7月矢白場河道掘削（石狩川）



令和3年1月北24条大橋架設（札幌市）

(9)イノベーション



流域治水サポーターの取組みの一環として、 水防協力団体に応募し自治体を支援！

水防団等が行う水防活動を支援・サポートする「水防協力団体」を水防管理者（市町村長）が通年で募集しています。

当社の水防協力団体としての支援を希望する南幌町、栗山町、当別町と支援内容や事務手続きについて打合せ（令和6年2月）を行っており、今後も流域治水を推進します。

当社の支援例（数名でのボランティア）

- ①自治体のポスターやパンフレットの設置
- ②自治体の水防訓練の支援・参加
- ③当社ドローンによる広報用写真撮影



南幌町との打合せ



栗山町との打合せ



当別町との打合せ



流域治水

流域治水への取組み



令和6年11月20日版
新太平洋建設株式会社

新太平洋建設株式会社

近年、全国各地で毎年大規模な水害が発生！

【平成27年9月関東・東北豪雨】



【平成28年8月台風第10号】



【平成29年7月九州北部豪雨】



【平成30年7月 西日本豪雨】



【令和元年 東日本豪雨】



【令和2年7月豪雨】



【令和3年8月の大雨】



【令和4年8月の大雨】



【令和5年7月の大雨】



【令和6年7月の大雨】



※ここに例示したもの以外にも、全国各地で地震や大雨等による被害が発生

平成28年8月 北海道でも豪雨災害が発生！

※出典～北海道開発局資料

空知川（南富良野町）



札内川（帯広市）



常呂川（北見市）

地球温暖化により年々、水害の発生リスクが上昇！

※出典～北海道開発局資料

道内アメダス100地点当たりの時間30mm以上の降雨発生回数

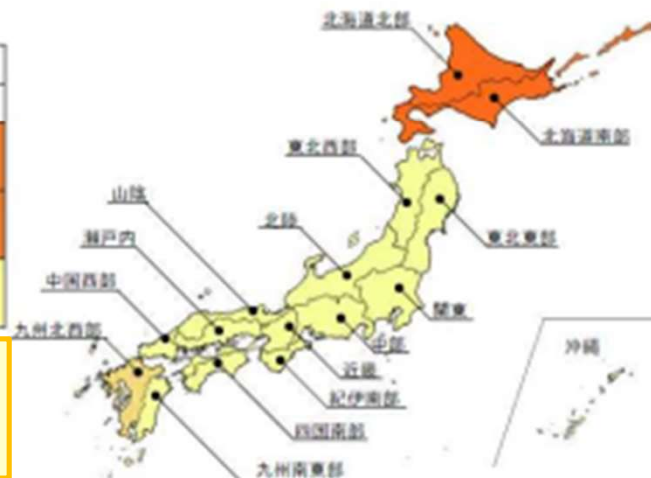


近年、北海道でも短時間に強い降雨の発生頻度が増加

<地域区分毎の降雨量変化倍率> 地球温暖化

地域区分	2°C上昇	4°C上昇	
		短時間	
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2	1.3

○北海道は全国より気象変動の影響が大きい



出典：気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会提言(令和3年4月改訂)

河川工事で洪水対応タイムラインを実運用！

当社では、頻発する豪雨対策として、河川区域内の工事において**洪水対応タイムライン (TL)を実運用**し、作業員の安全や重機からの油流出による漁業被害等の防止対策を行っています。

令和2年度石狩川矢臼場築堤河道掘削工事において、TLをステージ1から11まで行動事項を細分化し、**現場事務所、協力業者、本社、河川事務所の各担当者が行う行動内容を明記し、実運用**しました。

またTLは、現場事務所内外に掲示して、作業員への説明と周知を図りました。

掘削工事が本格化した7月には、河岸で掘削している**重機を必要時間内に堤防まで移動出来るかの避難訓練を実施**し、TLでの行動内容の実演習を行いました。



矢臼場築堤河道掘削工事 洪水対応タイムライン (石狩水位観測所)									
項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1. 発生									
2. 発生									
3. 発生									
4. 発生									
5. 発生									
6. 発生									
7. 発生									
8. 発生									
9. 発生									
10. 発生									
11. 発生									

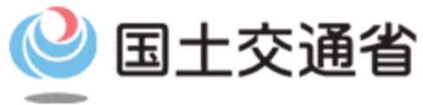
タイムラインの掲示と周知



堤防までの重機避難訓練

国土交通省の流域治水サポーターに認定（令和5年6月）

国土交通省では、あらゆる関係者との連携の下、流域全体で治水対策に取り組む「流域治水」を促進するため、令和5年3月に「流域治水オフィシャルサポーター制度」を創設し、当社は令和5年6月に「流域治水サポーター」に認定されました。以下は国土交通省のHPで公表されています。



YouTube

本文へ

文字サイズ変更

標準

拡大

音声読み上げ・ルビ振り

English

Google 提供



検索方法

サイトマップ

オフィシャルサポーターのご紹介



新太平洋建設株式会社

新太平洋建設株式会社

当社は2年連続の認定

認定年度

令和5年度

令和6年度 取組の例

WEBページにて河川区域内の工事で洪水対応タイムライン（事前防災行動計画）を実運用している旨の公表・周知。

令和5年度 取組実績

- WEBページにて河川区域内の工事で洪水対応タイムライン（事前防災行動計画）を実運用している旨を公表・周知。

当社のHP（SDGs取組み概要）でタイムラインの 取組み概要を紹介



新太平洋建設株式会社

強靱（レジリエント）なインフラ構築とイノベーション（新たな技術革新）の推進を図る

・河川工事により、流域治水での安全・安心の向上に貢献します。また、激甚化・頻発化する災害に対するソフト対策として、河川区域内の工事で洪水対応タイムライン（事前防災行動計画）等を実運用しています。

・当社は令和5年6月に国土交通省の流域治水サポーターに認定されました。

<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/supporter.html>

・令和2年度の河道掘削工事と橋梁新設工事で洪水対応タイムラインを、令和3年度の斜面对策工事で暴風雪対応タイムラインを、令和4年度の橋梁補修工事で洪水対応タイムラインを実運用し、令和6年度の豊平川河道整正工事でも運用を予定しています。



令和2年7月矢白場河道掘削（石狩川）



令和3年1月北24条大橋架設（札幌市）

(9)イノベーション



流域治水サポーターの取組みの一環として、 水防協力団体に応募し自治体を支援！

水防団等が行う水防活動を支援・サポートする「水防協力団体」を水防管理者（市町村長）が通年で募集しています。

当社の水防協力団体としての支援を希望する南幌町、栗山町、当別町と支援内容や事務手続きについて打合せ（令和6年2月）を行っており、今後も流域治水を推進します。

当社の支援例（数名でのボランティア）

- ①自治体のポスターやパンフレットの設置
- ②自治体の水防訓練の支援・参加
- ③当社ドローンによる広報用写真撮影



南幌町との打合せ



栗山町との打合せ



当別町との打合せ